

春季特別展 大宮盆栽村の歴史展Ⅲ

世界のBONSAIへ

1945-1989



平成28年2月19日(金)～3月30日(水)

同時開催

特集展示 「大宮盆栽村ゆかりの名品盆栽展」

会期 平成28年2月19日(金)～3月16日(水)
会場 コレクションギャラリー

会場 さいたま市大宮盆栽美術館 企画展示室

休館日 毎週木曜日

【主催】さいたま市大宮盆栽美術館
【後援】一般社団法人日本盆栽協会、大宮盆栽協同組合、埼玉新聞社、NHKさいたま放送局、テレ玉



さいたま市
大宮盆栽美術館

1925年に東京の盆栽職人により開村された、全国的にも珍しい大宮盆栽村の歴史を紹介するシリーズ展の第3回。一昨年の第1回展では、大宮盆栽村を特徴づける「樹種」・「技術」・「人」に焦点をあて、今日の〈大宮盆栽〉が誕生するまでの開拓史を紹介しました。また昨年の第2回展では、開村の際に尽力した清大園・清水利太郎の事績を通して、幕末から昭和戦前までの大宮盆栽村の歴史を跡づけました。

第3回展となる本展では、戦後の大宮盆栽村に焦点をあてます。戦後の大宮盆栽村は終戦の翌年に展覧会を開催し、また村内で研究会談会を催すなど、村を挙げて盆栽の復興にいち早く動き出しました。その中で九霞園・村田久造や蔓青園・加藤三郎、芙蓉園・竹山房造などは1964年の日本盆栽協会の設立と運営に携わり、東京オリンピック(1964)・大阪万博(1970)での展覧会や第1回世界盆栽大会(1989)の開催へと、戦後日本の盆栽界を牽引していきました。

本展は、こうした戦後の大宮盆栽村の歴史を通して、盆栽がいまや日本を越えて世界のBONSAIとなった、そのひろがりの道程をたどるものです。きたる第8回世界盆栽大会(2017)を前にして、BONSAI文化の「聖地」とされる大宮盆栽村の戦後史を、残された資料や写真、映像を通して紹介します。また、同時期に当館のコレクションギャラリーでは、戦後の大宮盆栽村を代表する盆栽園主が手掛けた名品盆栽展を併催します。戦後70年を経た今、戦後の園主たちの作品とともに、大宮盆栽村の戦後史を振り返ります。



1920年代、大宮盆栽村を訪れる外国人たち(九霞園蔵)



「オリンピックと盆栽村」(『埼玉新聞』1964年7月12日、埼玉新聞社)



「万博へ万博へ 色どりそえる盆栽」(『埼玉新聞』1970年3月7日、埼玉新聞社)



世界盆栽大会実行委員長の加藤三郎(1986年盆栽村に19か国大使が訪問した際の様子)さいたま市アーカイブスセンター提供

展示構成

- 1 戦後復興の歩み 1945～
- 2 国際化の道 1964～
- 3 世界盆栽大会の開催 1989
- 4 大宮盆栽村アーカイブズ映像

大宮盆栽村アーカイブズ映像上映作品

タイトル	制作年	制作
年輪の秘密シリーズ 盆栽	1959	岩波映画製作所
盆栽と取組む若者たち	1970	読売映画社
自然を一鉢に 大宮市	1979	テレビ埼玉
盆栽に情熱かけて	1983	テレビ埼玉
盆栽村をゆく	1984	テレビ埼玉
盆栽に魅せられて	1987	テレビ埼玉
世界盆栽大会(第1回)	1989	日本盆栽協会

※開館中、映像は繰り返し上映します。上映作品は一部変更の可能性がありま。

【表紙写真】

左上：昭和20年代の盆栽村(九霞園蔵) 右上：東京オリンピック協賛 盆栽・水石展(『盆栽』44巻11号1964年)
 左下：日本万国博盆栽水石展(『日本万国博盆栽水石展』図録、1970年) 右下：世界盆栽大会 デモンストレーション(『盆栽春秋』196号1989年)

特別展講演会「大宮盆栽村から世界のBONSAI VILLAGEへ ～激動の時代を生き抜いた盆栽と人々～」

- 日時 3月21日(月祝) 14時～15時30分
- 講師 野村路子(作家)
- 会場 さいたま市大宮盆栽美術館 講座室
- 定員 40人

申込み ハガキにて、「特別展講演会」、氏名、住所、電話番号を明記の上、3月9日(水)必着で当館まで。結果は全員にハガキでご連絡します。

特別展ギャラリートーク

- 日時 2月20日(土)、3月6日(日)、3月19日(土) 全日程とも13時30分～
 - 会場 さいたま市大宮盆栽美術館
 - 担当 当館学芸員
- ※当日有効な観覧券をお持ちの上、当館ロビーにお集まりください。



さいたま市
大宮盆栽美術館



〒331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3 TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323
<http://www.bonsai-art-museum.jp> <https://facebook.com/OmiyaBonsaiArtMuseum>
第8回世界盆栽大会(平成29年[2017]4月27日～30日)がさいたま市で開催されます。

開館時間 3月～10月：午前9時～午後4時30分
 11月～2月：午前9時～午後4時
 ＊入館は30分前まで

休館日 木曜日(祝日の場合は開館)、
 年末年始、臨時休館日あり

観覧料 一般……………300円(200円)
 高大生・65歳以上の方 ……150円(100円)
 小中学生 ……………100円(50円)
 ＊障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方一名は半額
 ＊()内は、20名以上の団体料金

電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分
 東武アーバンパークライン(野田線)「大宮公園駅」下車 徒歩10分
車利用 首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口より約6km
 東北自動車道「岩槻」出口より約9km
 駐車場：一般車両39台(2時間まで無料)
 大型車3台(860円)、障害者用2台(無料)

このチラシは30,000部作成し、1部当たりの印刷経費は6円です。